

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

使用量はkg/10a

<土づくりの使用資材・肥料について>

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	全P%	全K%	化成率%	全化成率%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
										使用量	使用時期	回数	化成率(kg)	使用量	使用時期	回数	化成率(kg)
鶏糞(肥)やまがたU鶏ふん	鶏ふん	JA	1	0	7	4			元肥	100	12月上旬	1	0.0	100	12月上旬	1	0.0
JA庄内みどり特級号	化成肥料	JA	10	4.7	8	8			元肥	40	12月上旬	1	1.9	40	12月上旬	1	1.9
堆肥(トポスト)	もみがら	飽海郡遊佐町	2	0	3	2			元肥	1000	12月上旬	1	0.0	1000	12月上旬	1	0.0
有機アグレット673特号	動植物有機、Mg	朝日アグリア(株)	6	0	7	3	100		追肥	20	3月中旬						
BM苦土重焼燐	苦土重焼燐	小野田化学工業(株)	0						追肥	20	3月中旬						
ハイカルダイ	C20 速乾性カルシウム	旭架化学工業(株)	0						追肥	1.05	7月中旬～9月	3	0.0	1.05	7月中旬～9月	3	0.0
有機アグレット673特号	動植物有機、Mg	朝日アグリア(株)	6	0	7	3	100		追肥	20	7月下旬						
くみあい粒状苦土石灰M-10	炭酸カルシウム	村瀬石灰工業(株)	0	0	0	0			追肥	40	7月下旬						
粒状シンプライド	硫酸カルシウム、カルシウム、窒素、リン、苦土、硫酸、ホウ素	昭和肥料(株)	0	0	1	0			追肥	60	8月下旬						
グッドパートナー38	生糞0.680号、バクファインワックス38%、ホウ素0.18%	ロイヤルインダストリー	0	0	2	1			追肥	0.7	3月下旬、7月下旬	2	0.0	0.7	3月下旬、7月下旬	2	0.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

基準値と比較して 当農地	8	削減
化学肥料	基準使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	12	
実績使用量	1.9	

*削減対象農薬

削減対象農薬	計画回数	地域慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	10	20

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、屋着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数/10a			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	スプレーオイル	マシン油		カイガラムシ類	25	350L	3/26～4/25	1	0	25	200L	4/13	1	0	-	-
殺菌	デランフロアブル	ジチアノン		炭疽病、落葉病、うどんこ病	2000	350L	5/25～30	1	1	2000	350L	5/22	1	1	5	5
殺虫	ロディー水和剤	フェンプロパトリン		カイガラムシ類、アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ	1500	350L	5/25～30	1	1	1500	350L	5/22	1	1	3	8
殺菌	ICボルドー412	銅		落葉病	50	350L	6/10～12	1	0	50	350L	6/6	1	0	-	-
殺虫	トクテオン水和剤	プロテオホス		アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ	800	350L	6/10～12	1	1	800	350L	6/6	1	1	2	2
殺菌	アミスター10フロアブル	アノキシストロピン		うどんこ病、落葉病、炭疽病、黒点病、すす病	1000	350L	7/10～15	1	1	1000	350L	7/7	1	1	3	3
殺虫	バダゲンSG水溶剤	カルテップ		アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ	1500	350L	7/10～15	1	1	1500	350L	7/7	1	1	4	4
殺菌	ストロビードライフロアブル	クレソキシムメチル		うどんこ病、落葉病、炭疽病、灰色かび病	3000	350L	8/15～20	1	1	3000	366L	8/17	1	1	3	4
殺虫	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン		カイガラムシ類、アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ	2000	350L	8/15～20	1	1	2000	366L	8/17	1	1	3	4
殺菌	ベルクート水和剤	イミカタジナルベシル酸塩		炭疽病、落葉病、うどんこ病、灰色かび病、すす病、黒点病	1000	350L	9/15～20	1	1	1000	400L	9/11	1	1	3	3
殺虫	ロディー水和剤	フェンプロパトリン		カイガラムシ類、アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ	1500	350L	9/15～20	1	1	1500	400L	9/11	1	1	3	8
殺虫	フェニックスフロアブル	フルベンジアミド		アブラムシ類、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ、アザミヤカメ	4000	350L	9/28～10/3	1	1	4000	100L	9/30	1	1	2	3

備考:

柿の脱炭はガスが基本ですが、山形県庄内地方で栽培されている庄内柿は昔ながらの焼酎で脱炭しています。その中で特別な脱炭方法があり、それが「プランデー」脱炭です。プランデー脱炭により柿本来の甘みを引き出すといわれています。

肥料、農薬の使用実績は、栽培責任者:松本 輝一さんのものです。

他の生産者については、計画記載の日付・使用量で、リストの中から使用。最大で、化成窒素 1.9kg/10a、削減対象農薬(成分カウント) 10回まで。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)	実績(施肥)	実績(防除)
1月	12月～3月 整枝剪定	整枝剪定		
2月	整枝剪定	整枝剪定		
3月	整枝剪定	整枝剪定	追肥	
4月	防除			スプレーオイル 4/13
5月	防除、摘花摘果	摘花摘果 5/下～		デランフ、ロディー 5/22
6月	防除、摘花摘果	摘花摘果		ICボルドー、トクテオン 6/6
7月	防除、摘花摘果	摘花摘果 ～7/下	追肥	アミスター10F、バダゲンSG 7/7
8月	防除		追肥	ストロビーDR、スタークル 8/17
9月	防除			ベルクート、ロディー 9/11、フェニックス 9/30
10月	防除、収穫	収穫 10/29～		
11月	収穫 ～11/中			
12月			元肥	

収穫開始:	令和6年10月29日
終了:	令和6年11月中旬